

メモ.10

発作を目撃したらその症状を観察する

もし誰かがてんかん発作を起こしたときは、安全を確保して見守ると述べましたが、さらに余裕があれば、その症状のうち1つ2つの特徴を記憶、もしくは記録してください。例えば、「顔や目が左右どちらかを向いていた」とか、「片方の腕が突っ張っていた」とか、「けいれんする前や倒れる前から会話の様子や行動が変だった」とか、「回復して起き上がったとき半身に力が入っていなかった」とか、どんな些細な情報でも構いません。状況が許せば（例えば家族などの場合）、スマートフォンなどで動画記録してもよいでしょう。もし、それらの情報を医師へ伝えることができれば、それが重要な診断の手掛かりになり、さらに治療が上手くいく近道でもあります。

